

ボランティアNEWS

第17号(2008年 8月)

暑い日が続いておりますが、お元気ですか？夏休みのいろんな催しに参加されている方、お疲れ様です。もうひとふんばり。なんとかのりきりましょう。

…7月のボランティア研修会の報告です！～郷土資料館・広島城～…



旧缶詰工場の煙突の基台と、旧カルビー工場にあった建物のレンガで造られたモニュメントを見ながら

7月27日(日)の研修は、広島城・郷土資料館合同で行った被爆建物・遺跡についての学習会でした。まずはスライドを見ながら、会場の郷土資料館の前身・宇品陸軍糧秣支廠の歴史や原爆による被害について、続いて被爆樹木や近代以降の遺跡を中心に広島城跡内の被爆の痕跡について解説を聞きました。その後、ブラックライトに照らされた「妖怪むら」の横を通りぬけ、2階渡り廊下から実際に原爆の爆風で折れ曲がった鉄骨を間近に見ながら説明を受けました。最後は、蝉時雨の中をうだるような館外に出て、宇品西公園に残る旧糧秣支廠

缶詰工場の煙突基台と、昨秋取り壊された旧カルビー広島工場(糧秣支廠の食肉処理場がありました)のれんがを使ったモニュメントを見学。皆さん熱心に質問され、関心の高さが窺われました。このあと、皆さんは広島城での現地研修に向い、さらに暑い暑い時間が続きます。広島城では、二の丸から本丸にかけて、広島城内の石垣や樹木に残る被爆の痕跡をいろいろと見て回りました。ボランティアの中には樹木に詳しい方や、被爆者の話を最近聞かれた方などがおられ、逆にこちらが教えていただくような場面もありました。現地で見初めてわかるような事実(例：右の写真)をじっくり見た結果、気がついたときにはすでに5時近くになって



被爆樹木ユーカリが成長した結果、石垣が歪んでいる。

いました。この研修は広島城の事業「現地で見ると！広島城の被爆痕跡」の事前研修も兼ねていましたが、最近一般の来館者から「広島城は原爆のときどうなったの？」など、原爆関係質問が多くなってきています。広島城と原爆について理解を深めるよい研修となりました。

(郷土資料館 前野、広島城 玉置)



どんな銘板を作るか話し合っているところです。場所は二の丸太鼓櫓の二階

「広島城樹木調べ隊の活動」

去年の4月、樹木調べ隊を結成し、以来毎月1度の活動を続けてきましたが、早いものでいつのまにか1年と4ヶ月がたっていました。今年は酷暑に見舞われていますが、活動する時に木陰にいると案外と過ごしやすく、木のありがたさをシミジミと感じる今日この頃です。

さて、活動を通して、隊員はかなり樹木の名前が分かるようになってきました。私はまだイマイチですが、長年身近にあったはずの木の意外な生態に触れることができ感銘を受けています。

今年度は、近隣の小学生と一緒に城内の木に銘板を作ることになっています。いま、隊員間でどのような銘板をつくるか、どの木に銘板を付けるか、子ども達に木についてどんな事を伝えていこうか、いろいろ話し合っています。子ども達にも隊員にも良い思い出になるように、銘板を見た人たちに喜んでいただけるように、良い物を作っていきたいと思います。(広島城 本田)

風物詩「七夕飾りづくり」にご参加いただきました～郷土資料館～



七夕を目前にした7月5日(土)・6日(日) 郷土資料館にて毎年恒例の「七夕飾り作り」を行いました。梅雨真只中なこの時期、毎年この日は決まって大雨。子ども達が1メートル前後の笹を持ち帰るのにはひと苦労。しかし今年は珍しくも晴天に恵まれ、初めて清々しい気持ちでこの日を迎えられました。

連日、ボランティアの方々には、織り姫・ひこ星など、飾りの折り方指導をしていただきました。折り方の順番に従い、一斉にゆっくりと折ってはいきますが、悩む子どもを発見すると、すぐさまマンツーマン指導にあたっていました。終わりに、願い事を書いた短冊と一緒に、配布した笹へ飾り付けを行いました。バタバタながらもボランティアの方々にも七夕行事を体感していただけたのではと思います。

(郷土資料館 山縣)



高陽まつりにご協力ください ~文化財課~

8月23日(土)に「第16回高陽まつり」が開催されます。文化財課は、『高陽地区の歴史の継承』をテーマとした催しに協力し、旧高陽町にある遺跡の概要説明やパネル・遺物展示、小学生を対象としたガラス勾玉作りなどを行います。ガラス勾玉作りでは、20人ほどの小学生に、オープン陶土を使った鑄



オープン陶土で作った勾玉の鑄型です。

型作りから、七輪を使ってガラスを溶かし、完成させるまでを指導します。

お忙しい時期とは思いますが、ぜひふるってご参加下さい。

詳細は、募集しま～すの欄をご覧ください。

(文化財課 中原)



ガラス粉を高温で溶かした状態です。これが冷えて固まれば完成です。

ボランティアフェスティバルについて

昨年度、3月に広島城の護国神社前でボランティアフェスティバルを行ないました。次回も同時期に同じ場所で行なう予定にしておりましたが、10月4日(土)に開催予定の「砂持加勢まつり」会場で開催してはどうかという提案がありました。各館のボランティアさんとも協議のうえ、来月号である程度のご案内ができると思います。(郷土資料館 大室)

募集しま～す！

1 研修会のご案内 8月はありません。

2 事業のご案内 各事業での指導等に腕を振るってください！ 事前に各担当施設にご連絡ください。

日時	事業	内容	会場（担当施設）
8/12(火)～15(金) 10:00～15:00	夏休みカンタン工作 飛び出す花火作り	からくりおもちゃ作りの指導 一部の時間だけで構いません	郷土資料館
8/16(土)・17(日) 10:00～12:00	教室事業 石ころ妖怪アート	石に妖怪の絵を描く指導 	郷土資料館
8/19(火)・20(水) 10:00～15:00	夏休みカンタン工作 ジイジイぜみ作り	からくりおもちゃ作りの指導 一部の時間だけで構いません	郷土資料館
8/21(木) 10:00～12:00	出張事業 「夏休み工作教室」	縄文ペンダント作りの指導	南区 宇品公民館 (文化財課)
8/21(木)・22(金) 10:00～15:00	夏休みカンタン工作 起き上がりこぼし作り	おきあがりこぼし作りの指導 一部の時間だけで構いません	郷土資料館
8/23(土) 9:00～12:30	出張事業 「高陽まつり」	ガラス勾玉作りの指導	安佐北区 真亀公民館 (文化財課)
8/23(土)・24(日) 10:00～12:00	教室事業 組ひもストラップ作り	くみひも作りの指導 	郷土資料館
8/28(木) 10:00～12:00	出張事業 「夏休み工作教室」	はにわづくりの指導	南区 宇品公民館 (郷土資料館)

広島城

担当/玉置・本田

TEL 082-221-7512 FAX 082-221-7519

メールアドレス 玉置 tamaki@rijo-castle.jp 本田 honda@rijo-castle.jp

ホームページ <http://www.rijo-castle.jp>

郷土資料館

担当/大室・山縣・前野

TEL 082-253-6771 FAX 082-253-6772

メールアドレス kyodo@hiroins-net.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroins-net.ne.jp/kyodo/>

文化財課

担当/中原・荒川・田村

TEL 082-568-6511 FAX 082-568-6513

メールアドレス 中原 naka@mogurin.or.jp 荒川 ara@mogurin.or.jp